

## ■情報メディア学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で定めている育成すべき人材像を実現するため及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために、高等学校等での学びや諸活動、資格・検定試験等で得た基礎学力、基礎知識、語学力、読解力、論理的思考力及び主体的に学ぶ意欲等を身に付け、本学の情報メディア学科に興味・関心を持った人を求めています。

また、本学入学後の学びや諸活動を通して、次のような能力を身に付けられる学生を求めています。

- 学ぶ意義を理解できる人
- 自らの目標を持ち、生涯にわたりその実現のために行動できる人
- ICTを積極的に活用し、デジタルコンテンツを制作できる人
- ひとつの専門技術を持ち、多くの周辺技術を理解できる人
- 映像、動画、音声などのデジタルコンテンツを処理できる人
- IoT（モノのインターネット）やゲームプログラムの開発に従事できる人
- ウェブアプリケーションやモバイルシステムを開発できる人
- ネットワークの構築、運営、管理、セキュリティに代表されるインターネット基盤技術を修得できる人
- 異文化を理解し、国際感覚に優れた人
- 社会、文化、倫理的な側面を理解し、行動できる人
- 市民としての倫理観と自覚をもち、社会に貢献できる人
- 高度なコミュニケーション能力を備え、チームワークを得意とする人
- ビジネス、デジタルコンテンツ等の発想力・企画力・計画力・実行力・評価力を備えることができる人
- 物事を幅広い視野からとらえ、論理的思考を備えることができる人
- 情報社会において必要とされる豊かな自己表現力を備えることができる人

### 大学入学までに身に付けて欲しいこと

大学では高等学校での学習内容を土台として講義が展開されます。「国語」、「数学」、「英語」といった基礎科目はあらゆる講義の基盤となるだけでなく、物事を論理的に思考することにも役立つ重要な科目です。とりわけ、「国語」の「文章表現力」や「口頭表現力」は、コミュニケーションの基本であり大学の講義をはじめ社会に出ても必要な力です。「数学」はICT関連技術やICTを用いたデザインを、論理的に理解・表現するために必要です。「英語」の基礎学力は、最先端のICT技術をいち早く知る上でも、プログラム言語の理解や国際的なコミュニケーションのためにも必要です。

また、「情報」も当学科でのプログラムの専門教育を受ける上での土台となる科目です。高等学校で学んだ範囲を確実に身に付けておくことが大学での勉学につながります。